



小野谷機工 タイヤチェンジャー新商品

ALMAX EXCEED XX

タイヤ整備機器の大手、小野谷機工株式会社は「のほど、乗用車からライトラックまで対応するタイヤチェンジャーの新商品「ALMAX EXCEED XX」(アルマックス・エクシード・ダブルエックス)を発売開始した。新商品は5つの画期的な新機能を搭載し、レバーレスとレバー入りの双方の作業が可能、軽労化と作業効率、安全性をさらに高めている。早速同社にお邪魔してお話を聞いた。

(木本 浩央)

いかに作業を軽労化し、誰にでも簡単に操作できるか…。これはタイヤ整備機器を開発販売するメーカーにとって永遠に課せられたテーマであり、各社が凌ぎを削るのはこの部分だ。

小野谷機工が今回開発した「ALMAX EXCEED XX」

(以下XX)は、そんなテーマに応えるため開発陣が工夫に工夫を重ねた商品に仕上がっている。

同社宇田公郎常務

は、「XX」は、そんなテーマに応えるため開発陣が工夫に工夫を重ねた商品に仕上がっている。

早速、同社商品開発部機器商品開発グループの吉川真仁(課長)にXXを実際の作業を行いながら解説して頂いた。

XXには5つの新機能が搭載されている。1つ目がテーブルの回転を任意の所で止めることができる。これまでの製品で

乗用車用のショッパンでも、ライトラック用をレバーで作業しますと肘を傷める原因になりますが、レバーレス機能を使えば簡単、シニア、女性の方でも楽に扱えます」と語る。

早速、同社商品開発部機器商品開発グループの吉川真仁(課長)にXXを行なうところを見ながら解説して頂いた。

XXには5つの新機

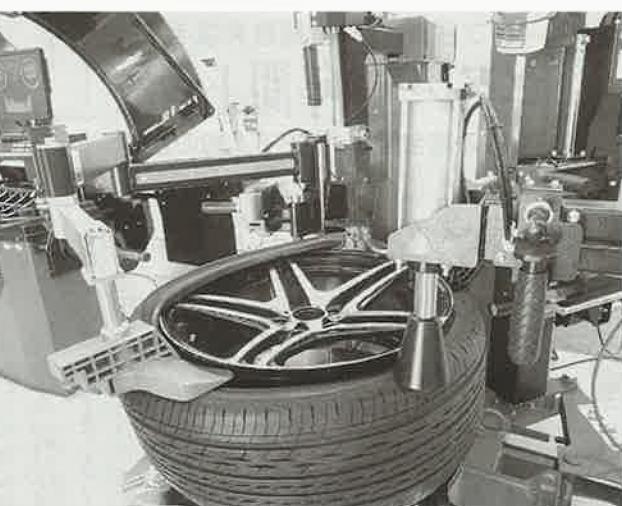
能が搭載されている。

1つ目がテーブルの回転を任意の所で止めることができた。これが可能になったことで、これまでの製品で

5つの新機能を搭載
LT、乗用車を一台で作業

5つ目はホイールをチャッキングする専用アームを設けた。テーブルの芯とアームの芯を合わせただけで簡単にホイールが抑えられる。これまで高扁平やランフラット、ライトラックなどを押さえづけるときにかなりの人力が必要だし、工具で押さええる場合も横荷重がかかったがそれもなくなり快適に作業できる。

3つ目は、レバーレス、レバーレス機能の使い分けが簡単になったこと。これまで反転してピンで固定する必要



があつたが、ボタン操作のみになつた。また、ライトラック用を操作する際はMDツールを厚みのあるLTヘッドに交換すれば、ビードの厚いライトトーラック用タイヤも簡単に確実なレバーレス作業が行える。

4つ目は、下ドプレスが単独で昇降することもちろん、上のプレスが下のプレスに当たった際に、自動的に離すとピタリと止まることが可能になった。

5つ目の新機能は、軽自動車、また通常の乗用車用のタイヤですと、ホイールをレバーで作業するには大変です。そんな方にこそぜひひレバーレス作業をお勧めしたいと思います。非常に効率よく、安全に作業できると思います」と語る。確かにライトラック用と乗用車用の両方の作業を見せてもらつたが、スムーズそのもの、流れるような作業ぶりで、新商品の威力が見て取れた。

さーべーの多様なニーズに応えるべく、今月から新たに他の新商品もデビューさせる。同社販売促進企画部の川崎雅彦部長は、「XXの持つ5つの新機能は付けておりませんが、よりリーズナブルな価格で26インチまでのタイヤがレバーレスで作業できる「EXCEED 24X」、同じく24インチまで作業できる「24X」、またレバーを使った作業に慣れておらず、レバーレス機能がいるお客様にも「26S」、「24S」を用意いたしております。

吉川課長は、「軽自動車、また通常の乗用車用のタイヤですと、ホイールをレバーで作業するには大変です。そんな方にこそぜひひレバーレス作業を可能にしました。さらに設計を工夫して省スペース型にしたレバーレス機能ありのMX(24インチまで対応)とX(22インチまで対応)、レバーレス機能なしのMS、S(24、22インチ)もございます。SSさんやカーディーラーさんなどビットが狭いお客様の需要も上がつてきています。今後はこれらの商品もどんどん使つていただきたいと思います」と語る。実際に豊富なラインナップがあり、XXと並んで様々なシチュエーションで大きな戦力になりそうだ。

がす必要があり、作業者はひと手間かかるが、そのストレスが無くなつた。

5つ目は、タイヤ組替装置で扁平タイヤ、ランフラットタイヤ、ラバーレス機能のアームを設けた。テーブルの芯とアームの芯を合わせただけで簡単にホイールが抑えられる。これまで高扁平やランフラット、ライトラックなどを押さえづけるときにかなりの人力が必要だし、工具で押さええる場合も横荷重がかかったがそれもなくなり快適に作業できる。

3つ目は、レバーレス、レバーレス機能の使い分けが簡単になったこと。これまで反転してピンで固定する必要

